

平成23年度生活環境部観光商工課執行目標中期進捗表

| 番号 | 執行目標項目及びその内容 | 目標とする指標 (具体的な数値・内容) | 進捗 状況 | 達成済の結果 | 年度内の達成に向けた計画 |
|----|--|--|----------|--|---|
| 1 | <p>市民協働による観光産業の育成 第26回国民文化祭事業を通じて、市民により作られた観光協会を中心に農・商工業者と市民団体の交流を図り、観光が産業になりうる方策を実施する。</p> | <p>実行委員会で決定された6事業を、農・商工業者と市民団体の協力により実施し、各事業者が利益を得られる事業にする。</p> | ○ | <p>第26回国民文化祭の「恭仁京遷都祭」では、京都府山城郷土資料館、市内研究所、高校、3商工会ふるさと案内人加茂等で、実行委員会（41名）を組織し、6事業を展開し、期間中、延べ98,647人の来場者を得た。</p> <p>6事業の内、「恭仁宮天平祭」では、市民参加による恭仁京遷都行列や、五節舞、万葉蹴鞠などを実施するとともに、市内商工会を中心とした物産展を実施。</p> <p>「木津川アート」では、木津川市観光協会に事業委託を行い多くの市民ボランティア等の協力を得て実施することができた。</p> <p>その他の事業においては、市内研究所、京都府山城郷土資料館、市内社寺9ヶ寺等に協力をいただき事業を実施した。</p> | <p>11月3日から始まる「木津川アート」では、木津川市観光協会に事業委託を行い多くの市民ボランティア等の協力を得て実施する。</p> <p>今後、実施した6事業内容から、関係部局等と協議、検討し、次年度以降の事業実施に関する精査を行う。</p> |

| | | | | | |
|---|---|--|---|--|---|
| 2 | <p>3町商工会の統合</p> <p>3町商工会の統合に向け、京都府商工会連合会に働きかけ、京都府の協力を得ながら、3町商工会の早期統合をめざす。</p> | <p>3町商工会の統合スケジュールを確定し、早期統合をめざす。</p> | ○ | <p>京都府、京都府商工会連合会等の指導、協力により、3商工会事務局長において、合併に係る検討会（京都府、商工会連合会を含む。）を設立することとなった。</p> | <p>今後は、左記検討会において、合併方式（新設合併）、名称（木津川市商工会）、合併時期（平成25年4月1日目標）を確認し、平成24年1月下旬までに各商工会理事会において合併基本項目の了解を得て、その後、3会長合意を得る。</p> |
| 3 | <p>市の魅力開発プロジェクト</p> <p>現在、市の魅力発信施策には、納涼大会、商工会実施の地域まつり、七夕まつりなどが掲げられ、それぞれに補助要綱を制定し各実施団体へ補助を行っている。</p> <p>また、今年度においては、第26回国民文化祭において6事業を実施することとし、次年度以降へ継続し、市の魅力を発信する計画としている。</p> <p>これらの事業を「市の魅力開発プロジェクト（案）」（下記）により見直しを行い、全国公募を行うことにより、市民協働を主体とした全国の企業、諸団体等が本市の魅力発信施策を実施するシステムを検討する。</p> <p>なお、平成24年度については、移行期間として、見直し事業の精査し、実施可能事業の選定を行い試験的に実施する。</p> | <p>市民の手による事業、イベントを開催することにより、色々な角度の市の魅力を発信すると共に、自ら主催、協力することによる事業への愛着、市そのものへの郷土愛が強くなることを目標とする。</p> <p>また、全国からの公募により、市外の方からも第二のふるさとの感情を持っていただけるものとする。</p> | △ | <p>今年度実施した各事業を精査中であるが、商工会の合併の進捗、納涼大会の継続実施等状況の変化により、見直し事業の再検討が必要である。</p> | <p>状況変化、進捗状況を勘案し、見直し事業の検討を行う。</p> |

※進捗状況の欄は、既に達成済の場合は◎、年度内に達成する見込の場合は○、年度内に達成できない場合は△を記入すること。